事業番号	02　04　01

事業改善シート（令和2年度実施事業分）

□当初要求　□当初予算案　■補正予算案　□点検

事業名	地域情報化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	先端技術活用推進課
		実施期間	～	E-mail	sentan@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
8つの重点目標	労働生産性
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保 3-7 先端技術の積極的な活用・導入 4-1 県土の強靭化

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○未来の長野県を担うICT人材育成の取組や先端技術の活用が広がりつつある。 ○御嶽山では、「御嶽山防災力強化計画」に基づき、ハード面・ソフト面の対策が実施されてきたが、警戒が必要な火口から半径2km内の「二ノ池周辺登山道」には携帯電話不感地域が存在し、緊急速報メール等による情報伝達ができない状況。 ○先進の4K画像等の映像を活用し、県内外に向けた本県の魅力発信に取り組んでいる。	令和2年度補正後額	101,304 千円
		職員数	2.14 人
目指す姿	○未来を担う子供・若者にICT利活用の素養と感性を身に付ける機会を提供し、高度なICT人材の育成に資する。 ○人口減少や担い手不足、公共交通の疲弊等、様々な問題を抱える中山間地域に対し、先端技術とシェアリングの考えを取り入れ、持続可能な地域の構築に資する。 ○登山者等に噴火速報等を迅速かつ確実に伝達するため、御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域の解消を図る。 （主な実施内容：アプリコンテスト及びハッカソンの開催、御嶽山における携帯電話不感地域解消のための携帯電話基地局整備に対して補助　）		

事業コスト

区分（単位：千円）		R元年度	2年度	2補正後
予算額	前年度繰越	0	0	0
	当初予算	917	88,825	88,825
	補正予算	12,640	0	12,479
	合計（A）	13,557	88,825	101,304
Aの財源	一般財源	658	12,862	12,862
	県債	0	0	0
	国庫支出金	259	71,832	81,914
	その他	12,640	4,131	6,528
決算額（B）		9,642		
概算人件費	職員数（人）	0.84	1.14	2.14
	概算人件費（C）	6,806	9,236	17,587
概算事業費（B(A)+C）		16,448	98,061	118,891

指標及びその達成状況

No	成果指標	30年度末	元年度末（見込）	令和2年度 目標値	令和2年度 成果	令和2年度 達成状況
①	アプリコンテスト参加応募作品数	68件	74件	80件		
②	ハッカソン参加人数	－	17名	30人		
③	実証によるデマンドシステム利用者満足度	－	0.5	－		
④	御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域	－	－	解消		

成果指標設定理由	①②未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するアプリコンテストの参加応募作品数及びハッカソンの参加人数を設定。 ③実証によるデマンドシステムの有用性を評価するため、利用者満足度を設定。 ④御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域の解消を設定。

補正により取り組む事業内容	長野県DX戦略に基づき、県と市町村によるシステムの共同利用・調達を手段として行政事務のDXを推進するため、県が事務局となって運営する「長野県先端技術活用推進協議会スマート自治体ワーキンググループ」において、行政事務の効率化に向けたソフトウェア等の共同調達・利用に向けた取組を実施。

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	令和2年度　実施内容（予定）	職員数（人）	令和2年度（補正前）	令和2年度（9月補正）	令和2年度（補正後）
1	未来のICT人材育成支援事業費	未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するため、若年者向けアプリケーションコンテスト及びハッカソンを外部団体と連携して開催。	0.42	890	0	890
2	中山間地域の課題解決に向けた先端技術実証事業費	令和元年度実施のデマンドシステムの運行実績データ及びアンケートの分析結果を元にした、新たな移動・配送モデルの検証及び地域交通・物流の汎用的な運用モデルを構築。	0.32	4,131	0	4,131
3	御嶽山における携帯電話不感地域解消事業費	御嶽山における携帯電話不感地域解消のための携帯電話基地局及び電源設備整備に対して補助。	0.40	83,804	0	83,804
4	台湾テレビ番組を活用した信州の魅力発信事業	－	－	－	－	－
5	ICT人材育成・活用促進実証事業	ICTに係る人材育成及び利活用を促進するため、ICT活用スキルを有する学生を教育現場等に派遣し、オンライン授業等の活用をサポート。	0.50	2,397	0	2,397
6	県と市町村によるスマート自治体実証事業	「先端技術活用推進協議会」及び「スマート自治体推進ワーキンググループ」を設置し行政事務の効率化に向けたソフトウェア等の共同調達・利用に向けた取組を実施。	0.50	0	10,082	10,082
		合計	2.14	91,222	10,082	101,304

事 業 改 善 シ ー ト 附 表

事業番号	事　業　名	部局	課・室
02 04 01	地域情報化推進事業費	企画振興部	先端技術活用推進課

□当初要求　□当初予算案
■補正予算案　□点検

細事業No	細事業名	項目	実施方法	令和２年度　実施内容	令和２年度　実施内容（実績）	２年度実施状況	30年度 当初（千円）	元年度 当初（千円）	令和２年度 要求（千円）	令和２年度 当初（千円）	令和２年度 補正（千円）	令和２年度 決算（千円）	備　考（R元事業番号）
1	未来のＩＣＴ人材育成支援事業	信州未来アプリコンテスト開催費	直接	未来の長野県を担うＩＣＴ人材の育成を支援するため、信州未来アプリコンテスト0（ZERO）を外部団体と連携して開催			399	398	398	398	－		02-02-01
1	未来のＩＣＴ人材育成支援事業	データ利活用人材育成ハッカソン	直接	未来の長野県を担うＩＣＴ人材の育成を支援するため、データ利活用人材育成ハッカソンを開催			－	519	492	492	－		〃
2	中山間地域の課題解決に向けた先端技術実証事業費	デマンドサービスシステム利用料	直接	－			－	－	－	－	－		〃
2	中山間地域の課題解決に向けた先端技術実証事業費	実証運行サービス委託費	委託	－			－	－	－	－	－		〃
2	中山間地域の課題解決に向けた先端技術実証事業費	交通・物流の運用モデルシミュレーション及びモデル構築委託料	委託	令和元年度実施のデマンドシステムの運行実績データ及びアンケートの分析結果を元にした、新たな移動・配送モデルの検証及び地域交通・物流の汎用的な運用モデルを構築			－	－	4,131	4,131	－		〃
3	御嶽山における携帯電話不感地域解消事業費	移動通信用鉄塔施設整備事業補助金	補助金	御嶽山における携帯電話不感地域解消のための携帯電話基地局及び電源設備整備に対して補助			－	－	83,804	83,804	－		〃
4	台湾テレビ番組を活用した信州の魅力発信事業費	台湾テレビ番組を活用した信州の魅力発信事業	委託	－			6,000	－	－	－	－		〃
5	ICT人材育成・活用促進実証事業	ICT人材育成・活用促進実証委託料	委託	ICTに係る人材育成及び利活用を促進するため、ICT活用スキルを有する学生を教育現場等に派遣			－	－	－	－	2,397		
6	県と市町村によるスマート自治体実証事業	新型コロナウイルス感染症に対応した県と市町村によるスマート自治体実証事業の実施に関する経費	直接	「先端技術活用推進協議会スマート自治体推進ワーキンググループ」において、行政事務の効率化に向けたソフトウェア等の共同調達・利用に向けた実証に必要な機器に係る経費			－	－	－	－	1,386		
6	県と市町村によるスマート自治体実証事業	実証支援業務委託	委託	「先端技術活用推進協議会スマート自治体推進ワーキンググループ」において、行政事務の効率化に向けたソフトウェア等の共同調達・利用に向けた実証の支援			－	－	－	－	8,696		
合　計							6,399	917	88,825	88,825	12,479	0	